



議会だより



令和7年3月定例会・臨時会

あらまし・委員会提出議案	2
予算審査特別委員会	4
議案審議・請願・人事案件	6
臨時会・一般質問目次	8
一般質問 9人が登壇	9
委員会レポート	18
わたしたちの町 (猪苗代小学校)	20

車に気を付けて
元気に登校



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



Google Play



Google Play

町制70周年を迎える 令和7年度予算が成立!

あしまし

令和7年第2回定例会は3月4日から3月14日まで開催されました。
 町長から提出された議案は、損害賠償に係る専決処分報告1件、令和6年度補正予算に係る専決処分の承認1件、令和6年度補正予算10件、令和7年度当初予算11件、条例の制定及び一部改正14件、人権擁護委員に係る諮問1件。追加議案として令和6年度補正予算、副町長の選任、教育長の任命、固定資産評価委員の選任の4件であり、すべて原案のとおり、可決しました。また、委員会提出議案1件が提出され、可決しました。
 一般質問は9人の議員が2日間にわたり行いました。

【一般会計予算の概要】

総額は93億6900万円

前年度比4億2200万円の増額

歳入は、自主財源の根幹である町税の確保がなお厳しい状況だが、徴収率向上に努め、負担の公平性を図る。

歳出は、ごみ焼却施設及び旧し尿処理施設跡地整備事業や少子高齢化に伴う義務的経費の増加が見込まれる。内部管理経費の節減や事務事業の効率的な執行に努め、臨時的経費も事業の効果と緊急性を最重点に選別し、事業費の圧縮を図った。

令和6年度末の町債現在額は、

前年度比約4億4500万円減の約81億1400万円を見込んでおり、今後も安定した財政基盤を確保し、可能な限り起債額を抑制する。



町の花 サギソウ

【主な予算】

『歳入』

町税2.8%増!

個人町民税は、事業所得に物価上昇の影響が懸念されるものの、給与所得の伸長により増額が見込まれる。

固定資産税は、宅地評価額の下落及び大規模償却資産の増加が無いことから、減額となる。

町債発行は予算総額の10%以内!

ごみ焼却施設及びし尿処理施設跡地整備事業や町道堅田五百刈線流雪溝整備事業など過疎対策債で約6億円を発行。前年度比で4020万円増の7億3020万円を計上。

『歳出』

○総務費

町制70周年記念事業

755万円

町制70周年を記念して、さまざまな事業・イベントを実施。

町公式ホームページ更新事業

925万円

利用者の利便性向上のため、町の公式ホームページを一新。

○民生費

乳児(0歳~3歳児)

おむつ券支給事業

528万円

乳児に対するおむつ券支給事業の対象者を2歳から3歳までに引き上げるための経費。



○商工観光費

猪苗代観光協会DMO設立

支援事業

6500万円

猪苗代観光協会をDMO(観光地域づくり法人)に登録し、積極的な誘客推進を図る。

○土木費

町空き家改修等支援事業

2400万円

空き家の利活用を促進するため、改修費用を支援。

社会資本整備総合交付金事業

2億3090万円

町道の舗装長寿命化修繕計画策定業務委託や町道堅田五百刈線流雪溝整備工事。

○教育費

猪苗代小学校屋内運動場特定

天井改修事業

1億4000万円

児童の安全のため、屋内運動場の天井を改修。

猪苗代高校広域入学支援事業

414万円

猪苗代高校の活性化のため、遠方から入学する生徒を支援。

一般会計予算の主な使い道

町民一人当たり752,210円

※3月末の人口12,415人で試算し、災害復旧費と予備費は含みません

衛生費 64,473円 (16,475円)	農林水産業費 45,132円 (▲739円)	商工観光費 35,695円 (▲2,874円)	土木費 131,614円 (2,108円)
民生費 126,142円 (328円)			消防費 37,041円 (3,955円)
総務費 103,285円 (16,740円)			教育費 113,223円 (9,032円)
議会費 8,144円 (▲13円)			公債費 87,461円 (3,600円)

※ () 内は対前年比

予算に係る主な質疑については、4ページから5ページの『予算特別審査委員会』をご覧ください。

議会運営委員会 提出議案

猪苗代町議会個人情報の保護に関する条例一部を改正する条例

【提案理由】懲役及び禁錮を廃止し、拘禁刑を創設することを内容とする「刑法等の一部を改正する法律」が施行されることに伴い、所要の改正が必要となるため提案する。

【改正概要】条例第53条から第55条までの規定中「懲役」を「拘禁刑」に改めた。

賛成全員 可決

議長を除く12名の委員で、令和6年度補正予算、令和7年度予算を審査しました。

令和6年度 一般会計補正予算

〔歳入〕

《町税》

問 個人町民税の増額は、均等割で新規課税者増、所得割は修正申告と、未申告勧奨分等で増。また、退職所得分の増で、増額補正となる。

《地方交付税》

問 1億2000万程の増額の要因は。

答 国の補正予算における普通交付税の追加交付。

《使用料及び手数料》

問 総務使用料の増額内容は、東信建設工業㈱、東北電力ネットワーク㈱で許可をとっている非農用地と、㈱DMC aizuより、猪苗代スキー場の臨時駐車場として役場北、南側駐車場の賃貸料。



旧吾妻中学校

《財産収入》

問 旧東中学校、旧吾妻中学校の土地賃貸借と建物賃貸契約に至った経緯は。

答 12月に文科省から財産処分の承認を受けたことに伴い、行政財産から普通財産へ所管替えし、1月1日付で㈱DMC aizu、天鏡㈱と賃貸借契約した。問 2社からの貸付収入の内訳は。

答 着手前で25%、工事期間中が50%、事業開始後は100%で進めてきた。

《寄附金》

問 猪苗代町三区林野組合からの寄附金の内容は。

答 要望により、猪苗代中学校へ製水機とウォータークーラーを設置。

《町債》

問 衛生債の減額の理由は、火葬場長寿命化事業として、炉の送風機等の交換工事を実施し、請差が出た。

〔歳出〕

《総務費》

問 会計年度任用職員人件費の減額の要因は。

答 募集しても集まらなかったため。今後は12月議会で補正できるように進める。

《衛生費》

問 毎年、浄化槽設置補助金の不用額が多い要因は。

答 猪苗代町生活排水計画があり、令和7年度までの計画に沿った予算計上であるため。

《農林水産業費》

問 環境譲与税交付金の林業振興は。

答 森林整備の予備調査業務委託を発注し、林道整備を実施している。

《土木費》

問 道路維持費負担金の減額は。

答 十六橋の補修工事等で、当初207万円の負担金の予定が、会津若松市と協議の結果、負担金が18万5000円となった。

《消防費》

問 防災総務費の消耗品費の減額は。

答 課長用防災服の更新を当初予算に計上したが、今回の更新は見送った。

《教育費》

問 小学校・中学校管理費、光熱水費の減額は。

答 昨年度、光熱水費が上がったことで予算化したが、予測ほど値上がりが無かったため減額。

令和7年度 一般会計当初予算

〔歳入〕

《町税》

問 個人町民税の増額の要因は。

《地方交付税》

問 地方交付税の算定は、前年の実績及び7年度の地方財政計画を勘案した。

《国庫支出金》

問 妊婦のための補助金増額は、新たに制度が新設され国の負担が増えた。問 循環型社会形成推進交付金の大幅増は。

答 ごみ焼却、し尿処理施設整備事業に係る交付金である。問 民生費国庫負担金の増額は。

答 児童手当の制度改正で支給が増えた。

《県支出金》

問 空き家対策支援事業補助金の増大は。

答 昨年実績が見込を上回ったため。

《財産収入》

問 財産貸付収入は。

答 旧東中、旧吾妻中の土地建物貸付収入である。令和7年度分
土地 215万円
建物 1547万円

〔歳出〕

《総務費》

問 町ホームページのリニューアル予定は。

答 12月末までに準備、1月公開予定。問 こおりやま広域圏連携中核都市圏航空写真合同撮影とは。

答 航空写真の活用が固定資産税の適正課税に最適なため。

《民生費》

問 子ども食堂運営事業補助金計上の経緯は。

答 各種団体からの助成金が減っているため、運営に必要な額を補助。

問 出産手当の増額検討は。

答 7年度も同額予定。

《衛生費》

問 不妊治療支援事業助成金は国の負担では。

答 町でさらに上乗せして助成する。

《農林水産業費》

問 担い手づくり総合支援事業の内容は。

答 農業機械の購入補助で補助率は10分の3。

問 防災減災事業負担金の新規計上は。

答 土地改良区で行う水路等の長寿命化で土田堰の水路。問 農産物6次化推進事業補助金の内容は。

答 商品ラベル、米粉、商品パッケージ3件の作成補助。

《繰越明許費》

問 商品券交付事業の内容は。使用期間は3月15日から6月30日で、換金等を含め年度をまたぐため、繰り越しする。



猪苗代町民応援商品券

問 学校給食費の食器洗浄機は新規購入か。

答 31年間使用し、劣化や故障が多いため更新する。

《債務負担行為》

問 消防ポンプ自動車整備事業で配備される分団は。

答 第二分団三城湯班に配備予定。



消防ポンプ自動車

特別会計

《介護保険特別会計予算》

問 保険給付費の減少理由は、令和2年をピークに65歳以上の人口が減り、要介護要支援の数も減っている。

審議した主な議案

専決処分承認を求めるとについて（令和6年度一般会計補正予算（第7号））
令和7年2月4日からの大雪における災害救助法に基づく障害物の除去（屋根雪等の除雪）に係る経費を計上。

【主な質疑】

問 対象予定件数、委託内容、除雪の範囲等は。

答 除雪場所は、屋根雪等の除去、玄関等のアプローチの除雪が中心。300世帯で委託料を計上。

猪苗代町手話言語条例

手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及等に関する施策を地域社会が一体となって推進するための条例を新たに制定する。

【主な質疑】

問 条例制定の経緯は。

答 今年度、県内で聴覚障がい者のデフリンピックが開催され、活動の一環で県からも制定を求められていた。

猪苗代町副町長の選任につき同意を求めることについて

【主な質疑】

問 県からの出向や民間からの登用も必要と思われるが、検討されたのか。

町長 県への依頼もお願いはしたが、迎え入れるタイミングで折り合わなかった。

猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて

【主な質疑】

問 町で教鞭を取り、校長先生を退職し教育長になれば、保護者も子どもも安心だと思いが、猪苗代町の学校ではないが、会津地方では教鞭をとっていた。

問 もっと早く議案を提出して、考慮する時間が欲しかったが。

町長 私自身の考えで選考し、今回提案させていただいた。

猪苗代町犯罪被害者等支援条例

誰もが安全で安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的として、犯罪被害者等支援の基本となる事項を定めるため、条例を制定する。

問 町の担当課は。

答 総務課が窓口となる予定。

賛成討論！

【安齋 浩明】

犯罪被害者等に寄り添い支援を行うことは極めて重要。支援は、各市町村が個別に定めることとなっており、早急に条例を制定していただきたい。

猪苗代町中小企業・小規模企業振興基本条例

地域経済の発展及び町民生活の向上を図るため、中小企業等の振興に係る条例を新たに制定するもの。

【主な質疑】

問 条例を制定する背景は。

答 平成26年に施行した小規模企業振興基本法をベースに、地域活性化のため、企業説明会等を実施するに当たり、事業者、商工会、町、三位一体で取り組むということ。

賛成討論！

【瀧田 勝昭】

条例制定にあたり、町、中小企業、金融機関など、事業者と本町の問題点を討論し対応できる会議、協議会の設置を求める。加えて、タイムリーにインバウンドや企業人材育成など、新たな補助金の創設を求める。

議案審議・請願

令和6年度一般会計補正予算（第8号）

反対討論！

【鈴木 元】

廃校跡地活用は、町民の関心も高く、総務文教常任委員会においても継続審議中である。議会への説明もなく事業が進められているのは議会軽視である。

賛成討論！

【大高 佐代美】

議会に対して説明不足が多々見られた。今後はこのようなことが無いよう強く改革を求めて賛成とする。

追加議案

令和6年度一般会計補正予算（第9号）

【主な質疑】

問 除雪費は、年内は増額計上による金額で間に合うか。

答 増額の補正予算があれば、間に合うと考える。

賛成討論！

【五十嵐 ミエ子】

自由に選べる選択的夫婦別姓こそ、不利益を被っている現実を解決するただ一つの道であると考えます。

国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員 氏名	審議結果
請願 第1号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願 新日本婦人の会猪苗代班 代表 阿部 純子 付託委員会 経済厚生常任委員会	五十嵐 ミエ子	継続 審査
請願 第2号	国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願 新日本婦人の会猪苗代班 代表 阿部 純子 付託委員会 総務文教常任委員会	五十嵐 ミエ子	不採択

猪苗代町固定資産評価審査委員会委員の同意

「猪苗代町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて」

渡部浩幸氏を適任と認め、同意しました。任期は令和9年9月30日まで。



渡部 浩幸 氏
(翁島駅前)

猪苗代町教育委員会教育長の同意

「猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて」

佐藤隆宏氏を適任と認め、同意しました。任期は令和7年9月30日まで。



佐藤 隆宏 氏
(樋ノ口)

猪苗代町副町長の同意

「猪苗代町副町長の選任につき同意を求めることについて」

野矢実氏を適任と認め、同意しました。任期は令和11年3月31日まで。



野矢 実 氏
(曲淵)

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
令和6年度猪苗代町一般会計補正予算（第8号）	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	可決
猪苗代町副町長の選任につき同意を求めることについて	○	○	×	×	○	○	○	欠	×	×	×	○	×	○	可決
猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて	○	○	×	×	○	○	○	欠	×	○	×	○	×	○	可決

※賛成「○」、反対「×」、議長「議」、欠席「欠」、同数の場合には議長が採決に加わる。

【お詫び】177号の記事訂正について

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、意義がない旨答申した記事で、任期の誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

正 令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、長尾幸子氏を推薦することに意義がない旨、答申しました。任期は令和7年7月1日から令和10年6月30日まで。



長尾 幸子 氏
(上新町)

人事案件



あんざい ひろあき
安齋 浩明

質問者の動画
が見られます



Q. 今後の大雪災害の対策は A. 除雪体制の見直しや強化を図る

【質問】今年大雪災害における町の対応は。

【総務課長】迅速かつ適切な支援を行うことを最優先に考え、まずは被害状況の把握を行い、関係各課で必要な支援を可能な限り提供した。

【質問】吾妻地区と翁島地区に大規模なサブ防災拠点を設置しては。

【総務課長】現在の防災拠点を利用できなくなった場合を想定し、今後、東西にサブ拠点、防災拠点となる場所を検討したい。

【質問】防災道の駅猪苗代の24時間トイレが少ないのでは。

【建設課長】検討が必要なことは認識している。父子トイレ、多目的トイレの利用を促進している。なお、県では、トイレコンテナの設置を予定している。



福島県犯罪被害者等支援条例
(令和3年12月制定)

Q. 犯罪被害者等に対する支援は A. 犯罪被害者等支援条例を制定

【質問】犯罪被害者等に対する支援の広報や教養は。

【総務課長】犯罪被害者等の方々が中学生や高校生に対して、命の大切さや被害者支援の大切さについての講演を実施している。町民の方には、広報紙などで理解を深めてもらえるように周知する。

【質問】見舞金や住宅支援等の具体的な制度化は。

【総務課長】県の担当課、警察本部、被害者支援センターなどに相談し、地域の特性を考慮し、検討した上で今後、規則または要綱で定める。

Q. 箕輪スキー場の再開予定は A. 検討、調整中である



再開を待つ箕輪スキー場

【質問】周辺宿泊施設等への支援措置等は。

【企画財務課長】燃料代の補助などを検討してほしいという意見をいただき、検討した。町は実質的な運営権について、判断、決定できないので、支援措置等の実施には至らなかった。

【質問】スキー場施設は今後も使用可能であるか。

【企画財務課長】老朽化が進んでおり、修繕等は必要であると思うが、そうしたメンテナンスを行った上であれば、使用可能であると考えている。

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

- 安齋 浩明 ⑨
防災・減災対策の強化
- 長澤 操 ⑩
令和7年度の経済対策
- 渡辺 真一郎 ⑪
スキー人口減少と町内スキー場の今後
- 山内 浩二 ⑫
成年後見制度
- 長友 海夢 ⑬
地域活性化の施策
- 五十嵐 ミエ子 ⑭
ジェンダー平等の推進
- 星野 あけみ ⑮
大雪の対応
- 渡部 一登 ⑯
商工観光振興対策
- 瀧田 勝昭 ⑰
公共施設維持管理の取り組み

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

ユーチューブ
「YouTube」配信中！

猪苗代町議会は、町のホームページでの録画映像配信と、スマートフォン等携帯端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。各ページのQRコードをご利用下さい。Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。
※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。

臨時会 (1月30日)

あらかし
令和7年第1回臨時会が開催されました。
町長から提出された議案は、一般会計補正予算、財産の取得について（追認）が3件の合計4件で、原案のとおり、全会一致で可決しました。

【主な審議内容】
○一般会計補正予算
住民税非課税世帯等への給付金及び事務費、全町民への1人当たり5千円分の商品券を交付する町民応援商品券交付事業費を計上。
【主な質疑】
問 給付金のスケジュールは。
答 議決後対象世帯に案内し、3月上旬には支給したい。
問 商品券の使用期間は。
答 3月15日から6月30日まで。

○財産の取得について（追認）3件
議会の議決を経ずに買入れを行っていた令和2年に契約し取得したコットンマスク、新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業用品ほか2件について、追認の議決を経たいので提案する。
【主な質疑】
問 契約自体、議決事件という認識が発生しないのは、どういう要因があるのか。
答 担当職員を含め、決裁を行ったすべての職員において、条例や法令の理解がされていなかったと認識している。今後このようなことが二度と起きないように形をとっていきたい。

(3月24日)

あらかし
令和7年第3回臨時会が開催されました。
町長から提出された議案は、一般会計補正予算1件で、原案のとおり、全会一致で可決しました。

【主な審議内容】
○一般会計補正予算
令和7年2月の大雪により被災した農産物の生産に必要な施設の復旧等の経費を支援するための補助金を計上。
【主な質疑】
問 復旧の場合は、2社以上の見積もりが必要との認識でよいか。
答 県のQ&Aによると、パイプハウスを復旧する場合は、2社から見積もりを取っていただく内容である。

臨時会
一般質問目次



わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎

質問者の動画
が見られます



Q. 休業中の3スキー場復活は難しいのでは
A. 様々な取り組みで需要の喚起はできる

【企画財務課長】事業の再開に向けて様々な検討がされている。
【質問】今あるスキー場で間に合っているのでは。
【商工観光課長】いろいろな取り組みで需要は喚起できる。

【質問】スキー人口がピーク時の70%減少、今後は。
【商工観光課長】減っていくと考える。
【質問】国内のスキー場は20%ほどしか減っていない。淘汰され急速に減っていくのでは。
【商工観光課長】閉鎖するスキー場が増えているが、インバウンドで持ち直した例もあり、今後検討していく。
【質問】箕輪、リゾート、ばんだい×2の3スキー場の復活は難しいのでは。
【企画財務課長】事業の再開に向けて様々な検討がされている。



スキー場

【質問】友好都市の締結を推進する意向と伺ったが経緯は。
【企画財務課長】町制施行70周年記念式典に合わせ熊本県小国町と友好都市の締結を行いたい。
【質問】ガーナとの友好都市計画は。

【質問】閉鎖した場合、原状復帰に莫大な費用が必要で、その準備をする必要があるのでは。
【企画財務課長】最悪の場合にならぬよう努力するが対応策は検討が必要だ。

【企画財務課長】歴史的、文化的に関係のないところと、経済を優先して友好都市というのは考えたことはない。
【質問】費用対効果を考えると経済力のある、有能な人材のいるところと友好都市を結ぶのが有効ではないか。
【企画財務課長】町が主体で締結できればということでは検討中。

【質問】交流は町が主体か、民間主体か。
【企画財務課長】町が主体で締結できればということでは検討中。
【質問】費用対効果を考えると経済力のある、有能な人材のいるところと友好都市を結ぶのが有効ではないか。
【企画財務課長】歴史的、文化的に関係のないところと、経済を優先して友好都市というのは考えたことはない。

Q. 友好都市の推進は
A. 70周年記念式典に合わせる

【質問】ガーナとの友好都市計画は。
【企画財務課長】令和8年の野口英世博士生誕150年に合わせ締結できないかガーナ大使館と相談している。

【質問】下水道の接続率はA. 75・3%
【質問】接続の推移は。
【上下水道課長】10年で7・2%増加した。
【質問】未処理の排水を猪苗代湖に流入させない工夫はされたか。
【上下水道課長】工夫はしていない。
【質問】湖浄化の目的で企業版ふるさと納税活用を両市に協力を呼び掛けでは。
【企画財務課長】国の認定が必要で、現在協議中。水環境保全事業も盛り込み、企業版ふるさと納税につながるよう積極的に取り組む。



ながさわ みさお
長澤 操

質問者の動画
が見られます



Q. 観光客の入込状況は
A. 前年対比でほぼ横ばい



雪に恵まれたスキー場

【商工観光課長】事業継承や物価高騰など、非常に厳しい状況であり、引き続き利子補給や電子クーポン発行、さらに空き家対策を通して町内経済の下支えをした。
【質問】観光客の受入れと集客強化の対策は。
【商工観光課長】多くの事業者は、震災やコロナ禍、そして物価高により設備投資や改修等に回す余裕がないのが実情で、国の補助事業等の活用の手伝いをしていきたい。
【町長】社会的な難題が押し寄せる中、町が存続できると産業の育成及び経済の活性化が不可欠と考えており、きめ細やかなところに視線を向け取り組んでいきたい。

【質問】農業の振興対策は。
【農林課長】「いいな！いなわしろ」の認定制度を利用し、農産物のブランド化や高付加価値化で選ばれる産地づくりを推進したい。
さらに、国県の支援策を活用し、農業者の経営安定と所得向上に努めたい。
【質問】人口減少により地域・産業の衰退を心配するが。
【町長】社会的な難題が押し寄せる中、町が存続できると産業の育成及び経済の活性化が不可欠と考えており、きめ細やかなところに視線を向け取り組んでいきたい。



【質問】インバウンドの入込みと内容は。
【商工観光課長】インバウンドの入込み速報値で、前年対比でほぼ横ばい。国別では台湾が圧倒的に多く、中国、ベトナム、タイとアジア圏からの来訪者が多い。
【質問】学校関係の合宿・教育旅行の進展は。
【商工観光課長】コロナ禍で落ち込んだ入込数は、回復基調ではあるが、行き先を変えた学校や箕輪スキー場の営業休止もあり、前年対比で減少となっている。

【質問】スキー場の利用状況は。
【商工観光課長】豊富な雪に恵まれ2月末時点で3スキー場合計、6万4000人増となっている。
【質問】観光施設等の整備促進は。
【商工観光課長】観光地は施設整備や安全対策を実施しなければならないと考えている。さらに、観光庁の補助事業等のメニューがあり、申請支援を行いながら施設の維持に努めたい。
【質問】DCCキャンペーンの対応は。
【商工観光課長】生誕150周年を迎える野口英世博士に再びスポットを当て、野口記念館で予定の特別展示をプレDCC、7年度のDCCの目玉として実施したい。
【※DCCキャンペーンとは】JRと県市町村が行う観光キャンペーン。



ながとも ひろむ
長友 海夢

質問者の動画
が見られます



Q. 外国人観光客受け入れの目標は
A. 次期振興計画に目標を明示したい

【質問】団体客は滞在日数も少なく、町への経済波及効果も限定的な状況である。町の考えは。
【商工観光課長】訪日中の外国人にとって、本町は一通過点になっていると考えられる。滞在日数、滞在時間を伸ばす工夫が必要。情報発信等の強化も図りたい。
【質問】滞在日数やリピーターを増やすための受け入れ体制並びにサービスの強化は。
【商工観光課長】今年度は観光事業者等を対象としたインバウンド向き合い講座等を実施。今後受け入れ体制の整備や強化、機運の向上に努めたい。



海外の学生達と湖で交流

【質問】オーバーツーリズムや文化的ギャップによるトラブル対策は。
【商工観光課長】対事業者、対住民向けのセミナーや研修会を通じて、受け入れ体制の整備を努めたい。
【質問】地域住民や学生が外国人旅行者との交流を深められるような施策は。
【商工観光課長】受け入れ側として、外国人慣れさせることは非常に大切と考える。関係団体と協力しながら体制作りを進めたい。

【質問】AI活用による住民サービスの向上、職員の業務効率化の施策は。
【総務課長】必要な業務を精査し環境の整備が必要だと認識している。
【質問】IT分野に精通する職員の募集は。
【総務課長】IT分野に特化した町職員の採用は考えていない。
【質問】地域プロジェクトマネージャー制度を活用した人材の確保は。
【総務課長】専門知識を有する人材が不足し、行政DXもあまり進んでいないため、地域プロジェクトマネージャーや地方創生人材支援制度などの活用について検討を進めている。



詳しくは総務省HPをチェック

【質問】デジタル技術を活用し、対外的な広報活動に取り組む人材の募集に協力隊制度を活用する考えは。
【総務課長】協力隊制度の活用が必要か、また可能かも含め検討したい。



やまうち こうじ
山内 浩二

質問者の動画
が見られます



Q. 成年後見制度の支援は
A. 法的、福祉的側面から後見人等を援助

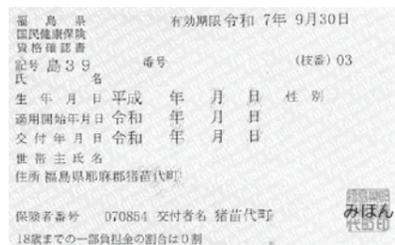
【質問】成年後見制度の組織は。
【保健福祉課長】会津市町村で成年後見センターを設置しており、あいづ安心ネットに運営を委託。また、保健福祉課、社会福祉協議会、地域包括センターで相談を受け付けている。制度利用を申立てる人がいない場合は、町長が対応する。
【質問】後見人の人選は。
【保健福祉課長】申立書の理由、医師の診断書により本人にとって最も適切だと思われる人を家庭裁判所が選任する。
【質問】支援信託、預貯金利用は。
【保健福祉課長】財産のうち通常使用しない金銭は後見人が信託銀行に本人の財産を保護することができる。



Q. マイナ保険証未取得者対応は
A. 資格確認書を交付する

【質問】マイナ保険制度は。
【町民生活課長】令和6年度で国民健康保険及び後期高齢者医療保険を含む全ての新規発行が廃止されマイナンバーカードを健康保険証として登録、利用して頂く。

【質問】未登録者対応は。
【町民生活課長】マイナ保険証を取得していない方に交付するのが資格確認書である。国民健康保険は、令和7年9月末まで、後期高齢保険は令和7年7月末まで、従前の保険証使用可能で未登録者には有効期限が切れる前に資格確認書を送付する。



資格確認書の見本

【質問】関係課の取り組みは。
【総務課長】所有者に対する助言や周知、啓発のほか、実態調査と対策の実施、町ホームページでの空き家の情報提供を行う。
【商工観光課長】空き家バンクを活用して、空き家登録の周知並びに紹介を行っていく。
【建設課長】町空き家改修等支援事業補助金交付要綱策定、補助金を交付する事業を今年度から実施。
【質問】空き家危険度実態調査は。
【総務課長】空き家調査で560戸判明したが、危険度判定に至っていない。今後調査実施する。

Q. デジタル技術を活用する考えは
A. 積極的に活用を進めたい



ほしの
星野 あけみ

質問者の動画
が見られます



Q. 大雪による被害状況の把握は
A. 関係機関の連携と現地確認で情報収集

【質問】町職員による除雪の対応は、どのように行われたのか。
【総務課長】町民の方や行政区长・民生委員等から依頼のあった方の自宅を訪問。雪の状況から除雪の判断をし、対策本部への報告の後、本部から職員を派遣する流れで行った。
【質問】要支援者名簿をもとに、現地確認は行われたのか。
【総務課長】要支援者の状況は、保健福祉課と民生委員の連携により把握を行っていた。加えて、行政区長に協力をいただき、状況を把握した後、現地確認を行った。



雪押し場となる千里公園

【質問】災害救助法による申請期間があまりにも短いとの声があった。どのように捉えているのか。
【総務課長】組回覧に加えてHPやLINE、メールで速やかに周知した一週間程度の申請期間であったことから電話で問い合わせもあった。【質問】避難場所である公園などが雪押し場となっている。冬期間における避難場所の確保は。
【総務課長】積雪が多く避難場所へ避難できない場合は、直接避難所へ避難していただく。

【質問】通学路点検での「安全に乗降できる対策」への対応は。
【教育総務課長】スクールバスに乗り降りする場所も確認した。場所によっては、道路を横断しなければいけない所もあった。運行経路を変えることで道路を渡らず地区に入れるよう対応している。
【質問】中学生の保護者からスクールバス運行の要望があるが検討は。
【教育総務課長】新たにスクールバスの運行はしないが、一人で通学しているケースもあり、安全確保のため、スクールバス通学を考えている。

【質問】学校支援ボランティアの現状は。
【教育総務課長】地域住民による学校運営の協力を令和5年度より募集した。6年度はこども園を含めた募集をした。猪苗代小学校で1名となっている。
【質問】スポーツ振興のまちとして、スキーに親しめる機会を設ける考えは。
【教育総務課長】体育の時間やスキー教室を設けている。野口スキー大会では競技力向上にも努めている。スポーツ少年団の活動も支援していく。

一般質問



いがらし
五十嵐 ミエ子

質問者の動画
が見られます



Q. ジェンダー平等の推進は
A. 推進の取り組みをしていきたい

【質問】男女共同参画推進基本計画は。
【総務課長】令和3年2月に猪苗代町男女共同参画計画を策定しており、町全体で男女共同参画社会の形成を推進している。
【質問】女性の登用促進を計画されているが、管理職の割合は。
【総務課長】令和6年度女性職員の役職別の登用割合、管理職は、17名中3名で、17・6%。係長職は、47名中16名で、34%。目標に掲げている10%以上、30%以上をそれぞれ達成している状況である。



【質問】女性登用の取り組みは。
【総務課長】今後も女性職員の仕事と家庭の両立や男女平等参画を推進した取り組みをしていきたい。
【質問】小中学校のトイレに、生理用品の配置をすべしと考えるが。
【教育総務課長】生理用品の取扱いは、保健室で保管し、必要な場合、子どもたちの申し出によって配布している。今後も、これまでどおりの対応でいきたい。



猪苗代の偉人を考える会

【質問】学校教育の中で、伝統文化の民謡を学ぶ機会は。
【生涯学習課長】小学校では、音楽の時間に年間指導計画に基づいて日本の歌、和楽器に親しむなどの単元で民謡について学ぶ機会がある。中学校では、民謡の特徴とその背景となる文化や歴史を理解し、創意工夫し歌うという授業もある。
【質問】次世代への継承施策は。
【生涯学習課長】平成21年に町体験交流館の開館に設立した猪苗代町体験交流協会の活動により、町民主体の文化活動を支援する取り組みを行ってきた。公民館事業としては、各種講座に伝統文化を加え、地域の方々などを講師に迎え民謡や民謡の体験、昔遊びなどを行っている。
【質問】今後の伝統文化の伝承は。
【町長】伝統文化を次の世代へつないでいける取り組みを関係団体や地域の方々との協力をしながら進めてまいりたい。

Q. スクールバスの安全確保・配慮は
A. 運行経路・乗車時間を考慮し、対応

一般質問



たきた かつあき
瀧田 勝昭

質問者の動画
が見られます



Q. 昨今の上下水道事故への認識は
A. 上下水道幹線の点検・調査の必要がある

【上下水道課長】財源の、水道料金及び下水道使用料は、3年ごとの見直しと補助金等の活用を図る。人的対策、技術職員の募集に応募がない。行政と建設事業者との連携を検討する。

【質問】公共施設等総合管理計画で緊急性を伴う事業の取り扱いは。
【企画財務課長】令和27年度までの総合管理計画は、必要になれば、当然見直しをする必要があると考えている。機会を捉えて、点検等も含め注意喚起も必要である。計画で緊急の場合の実施についての明記も、今後は検討したい。
【質問】維持管理の財源対策及び技術者の人的対策は。
【上下水道課長】財源の、水道料金及び下水道使用料は、3年ごとの見直しと補助金等の活用を図る。人的対策、技術職員の募集に応募がない。行政と建設事業者との連携を検討する。



下水道管洗浄のための高圧洗浄車



下水道管の洗浄作業

【質問】財源不足、人員不足のなか、公共施設の維持管理をどのように考えるのか。
【町長】補助金や起債の有効活用に努める。施設等の保有数量の最適化に取り組み、施設全体で維持管理経費の抑制を図るなど、財政負担の軽減や平準化に努めたいと考える。
行政内部でも今後の人口減少を見据え、公共施設の在り方を検討するとともに、事務事業のさらなる効率化や公営企業の健全化にも取り組んでいく。

Q. 大雪に対する除排雪の認識は
A. 最大で平年3倍の積雪深があった
【質問】本町の消雪施設が機能しないことは。
【建設課長】六角交差点から東邦銀行前までの約400メートル、福島県が所有管理する共用井戸のポンプが1月12日に故障し、今シーズンの復旧は困難なため、除雪作業に切り替える対応した。
排雪場所がないため、きれいに除雪することが困難であった。

【質問】流雪溝の考え方は。
【建設課長】水路に流水がなければ排雪できず、大きな課題である。住宅地での水害発生リスク、水路系統の調査や既設水路のネック部の改修、利用者のルールづくりなどを整理し慎重に対処すべき問題である。
【質問】除雪の町直営と民間委託の差はあるのか。
【建設課長】直営は除雪車1台1日平均で6km。委託は約2kmである。直営は、排雪にダンプトラック等が必要となる。必要経費も勘案しながら、地域住民の生活のために作業回数を増やせるよう努めたい。

一般質問



わたなべ かずと
渡部 一登

質問者の動画
が見られます



Q. 商業観光振興の予算は全体の何%か
A. 令和7年度予算全体の4.7%

【質問】令和7年度の観光振興対策の計画は。
【商工観光課長】これまでの対策を実施しながら新たな取り組みで、人材不足対策として町内在住の高校生を対象とした町内企業の合同説明会を予定している。観光振興対策では、これまでの宿泊サイトの割引クーポン事業、観光地の周遊バス運行事業などを実施し、新しく猪苗代観光協会を観光地域づくり団体(DMO)の設立支援を実施予定している。
【質問】他市町村の状況を見ながら、入湯税の使途や課税要件について、入湯税を預かる事業所の方との協議が必要なのは。
【町長】猪苗代駅のバリアフリー化は私も同じような考えを持っていて、郡山から来ると、高齢者の方、身体の不自由な方、大きな荷物を持つていての方が不便であり、これを機会に私もJRの担当者に直接会って問題を提言し話を前に進めていきたい。

【質問】令和7年度の観光振興対策の計画は。
【商工観光課長】これまでの対策を実施しながら新たな取り組みで、人材不足対策として町内在住の高校生を対象とした町内企業の合同説明会を予定している。観光振興対策では、これまでの宿泊サイトの割引クーポン事業、観光地の周遊バス運行事業などを実施し、新しく猪苗代観光協会を観光地域づくり団体(DMO)の設立支援を実施予定している。
【質問】他市町村の状況を見ながら、入湯税の使途や課税要件について、入湯税を預かる事業所の方との協議が必要なのは。
【町長】猪苗代駅のバリアフリー化は私も同じような考えを持っていて、郡山から来ると、高齢者の方、身体の不自由な方、大きな荷物を持つていての方が不便であり、これを機会に私もJRの担当者に直接会って問題を提言し話を前に進めていきたい。



バリアフリー化を期待したい猪苗代駅

【質問】今年が町政施行70周年を迎えるが式典や記念事業は計画されているのか。
【総務課長】式典は10月24日に学びいなにて開催する予定で進めている。記念事業については毎年、既存事業として実施している事業も、創意工夫を凝らし町民参加型で実施し、町全体を盛り上げる事業となるように考えている。



町政施行70周年を迎える本町

【質問】70周年をきっかけに他市町村との連携強化等を検討はされるのか。
【企画財務課長】10月の式典に合わせて、熊本県小国町との友好都市の締結ができないかと現在調整中である。またガーナ共和国とも友好都市としての締結を現在検討中である。

一般質問

委員会レポート

広報広聴常任委員会

〔概要〕
町ホームページの更新は、9月末に委託契約の入札を行ったところ不調になってしまった。計画を見直し、新たな機能（AIチャットボット、オンライン申請、オンライン施設予約）の追加やデジタル田園都市国家構想交付金の活用などができないか県や町情報推進委員会と協議。予算を次年度に繰越し令和8年1月に新規公開したい。

現在の町ホームページは平成23年に運用が始まったもので、スマートフォン未対応であり、町民からは見づらく使にくいという声がある。議会からも以前から意見してきたもので、期待が高まった。

なお、掲載情報については、今後各課で確認、整理して「誰でも使いやすい町公式ホームページ」を基本方針に、デザインも含め全体的にリニューアルする。

〔意見〕
導入当時から13年経過し、多様化する利用者ニーズに対応できていない。当初予算に計上し、実施を約束していた事業を次年度に先延ばししたことや、議会への経過説明がなかったことについては反省していただきたい。町ホームページは担当する総務課だけでなく、全課が協力し、若い世代の考えも聞いた上で、スピード重視で事業を進めていく必要がある。町民のためなのはもちろんのこと、町の顔として全国情報発信のための重要なツールである。

なお、AIチャットボット等の新機能については、本当に必要なか疑問がある。補助金要件とはいえ必要性について十分に検討されたい。

議会だより及び議会報告会

〔概要〕
議長を除く11人で構成される広報広聴委員会を設置。議会だより・議会インターネット録画配信のデジタル班と、高校生との意見交換やおしゃべりカフェ担当のアナログ班に分かれている。「議会だより」を「議会のおと」へタイトル変更。令和2年4月から議会モニター制度をスタートし、町内6地区から11名を選出。年4回のアンケートにあるモニターの声を大切に広報編集に反映させている。おしゃべりカフェは隔月20日に開催。気軽に話せる機会と評価されている。議会報告会は年に1回6地区で開催してきた。議員活動レポートを年1回発行し全戸配布。委員会活動報告をYouTubeで配信している。

〔令和6年度町議会広報クリニックス〕
議会広報ファシリテーターの越地真一郎氏を講師に「読む！質す！生かす！」反転・



グループワークの様子

一般会議の募集について

町政に関して、議員と意見交換をしませんか。

議会事務局（0242-62-5666）までお問い合わせください。

会津若松地方広域圏市町村整備組合



新ごみ焼却炉施設

〔概要〕
令和7年度一般会計予算は、179・2億円で承認され、主な支出は新ごみ焼却設備運営に110・8億円、消防費44・8億円です。労務費、資材価格高騰により、職員の特殊勤務手当や建設の工事請負系契約の一部が変更されました。今年8月完成予定のごみ焼却炉施設整備は、ほぼ計画どおり進行しています。

〔意見〕
議会だよりモニター制度で町民の声を編集に反映していることは、多くの町民に読んでもらえると期待できる。議会報告会や意見交換会も、おしゃべりカフェ・出張カフェとして議員が出向くスタイルで開催している。多くの方との対話を目的とし、気さくに話せる雰囲気づくりを心がけていることは、今後の開催に向け大変興味深い取り組みである。

令和7年2月議会定例会

〔概要〕
会津若松地方広域圏市町村整備組合議会定例会が2月5日から2月21日に行われました。

令和6年度一般会計補正予算が承認され、1・2億円が減額されました。

令和7年度一般会計予算は、179・2億円で承認され、主な支出は新ごみ焼却設備運営に110・8億円、消防費44・8億円です。労務費、資材価格高騰により、職員の特殊勤務手当や建設の工事請負系契約の一部が変更されました。今年8月完成予定のごみ焼却炉施設整備は、ほぼ計画どおり進行しています。

総務文教常任委員会

〔概要〕
町ホームページの更新は、9月末に委託契約の入札を行ったところ不調になってしまった。計画を見直し、新たな機能（AIチャットボット、オンライン申請、オンライン施設予約）の追加やデジタル田園都市国家構想交付金の活用などができないか県や町情報推進委員会と協議。予算を次年度に繰越し令和8年1月に新規公開したい。

現在の町ホームページは平成23年に運用が始まったもので、スマートフォン未対応であり、町民からは見づらく使にくいという声がある。議会からも以前から意見してきたもので、期待が高まった。

なお、掲載情報については、今後各課で確認、整理して「誰でも使いやすい町公式ホームページ」を基本方針に、デザインも含め全体的にリニューアルする。

〔意見〕
導入当時から13年経過し、多様化する利用者ニーズに対応できていない。当初予算に計上し、実施を約束していた事業を次年度に先延ばししたことや、議会への経過説明がなかったことについては反省していただきたい。町ホームページは担当する総務課だけでなく、全課が協力し、若い世代の考えも聞いた上で、スピード重視で事業を進めていく必要がある。町民のためなのはもちろんのこと、町の顔として全国情報発信のための重要なツールである。

なお、AIチャットボット等の新機能については、本当に必要なか疑問がある。補助金要件とはいえ必要性について十分に検討されたい。



現在の町ホームページ画面

町ホームページの更新

〔概要〕
町ホームページの更新は、9月末に委託契約の入札を行ったところ不調になってしまった。計画を見直し、新たな機能（AIチャットボット、オンライン申請、オンライン施設予約）の追加やデジタル田園都市国家構想交付金の活用などができないか県や町情報推進委員会と協議。予算を次年度に繰越し令和8年1月に新規公開したい。

現在の町ホームページは平成23年に運用が始まったもので、スマートフォン未対応であり、町民からは見づらく使にくいという声がある。議会からも以前から意見してきたもので、期待が高まった。

なお、掲載情報については、今後各課で確認、整理して「誰でも使いやすい町公式ホームページ」を基本方針に、デザインも含め全体的にリニューアルする。

〔意見〕
導入当時から13年経過し、多様化する利用者ニーズに対応できていない。当初予算に計上し、実施を約束していた事業を次年度に先延ばししたことや、議会への経過説明がなかったことについては反省していただきたい。町ホームページは担当する総務課だけでなく、全課が協力し、若い世代の考えも聞いた上で、スピード重視で事業を進めていく必要がある。町民のためなのはもちろんのこと、町の顔として全国情報発信のための重要なツールである。

なお、AIチャットボット等の新機能については、本当に必要なか疑問がある。補助金要件とはいえ必要性について十分に検討されたい。

経済厚生常任委員会

〔概要〕
婚活イベントを令和6年7月に遊覧船かめ丸船内を会場に、県と合同で開催した。終了後のアンケートでは22名中16名が「満足している」という回答だった。

不妊治療への相談を含め、子育て支援の産前産後のサポートをしている。支援制度などの情報を、地区担当保健師が乳児家庭全戸へ訪問し提供している。令和6年度からLINEによる小児科産婦人科のオンライン相談サービスも実施している。

妊娠・出産期から子育て期において、切れ目なく継続して支援を行う体制をとり、安心して出産、子育てができる環境整備に努めている。妊娠届時に出産・子育て応援ギフト、出生届後に出産手当の支給のほか、令和6年度より乳幼児おむつ券を支給し、経済的支援も行っている。

〔意見〕
婚活に対しての需要は多く、継続的に県との企画や町

結婚サポートと子育て支援の現状

〔概要〕
婚活イベントを令和6年7月に遊覧船かめ丸船内を会場に、県と合同で開催した。終了後のアンケートでは22名中16名が「満足している」という回答だった。

不妊治療への相談を含め、子育て支援の産前産後のサポートをしている。支援制度などの情報を、地区担当保健師が乳児家庭全戸へ訪問し提供している。令和6年度からLINEによる小児科産婦人科のオンライン相談サービスも実施している。

妊娠・出産期から子育て期において、切れ目なく継続して支援を行う体制をとり、安心して出産、子育てができる環境整備に努めている。妊娠届時に出産・子育て応援ギフト、出生届後に出産手当の支給のほか、令和6年度より乳幼児おむつ券を支給し、経済的支援も行っている。

〔意見〕
婚活に対しての需要は多く、継続的に県との企画や町



昨年開催したイベントのチラシ

〔概要〕
婚活イベントを令和6年7月に遊覧船かめ丸船内を会場に、県と合同で開催した。終了後のアンケートでは22名中16名が「満足している」という回答だった。

不妊治療への相談を含め、子育て支援の産前産後のサポートをしている。支援制度などの情報を、地区担当保健師が乳児家庭全戸へ訪問し提供している。令和6年度からLINEによる小児科産婦人科のオンライン相談サービスも実施している。

妊娠・出産期から子育て期において、切れ目なく継続して支援を行う体制をとり、安心して出産、子育てができる環境整備に努めている。妊娠届時に出産・子育て応援ギフト、出生届後に出産手当の支給のほか、令和6年度より乳幼児おむつ券を支給し、経済的支援も行っている。

〔意見〕
婚活に対しての需要は多く、継続的に県との企画や町



わたしたちの町 ～つむいで受け継がれる想い～



わたなべ まさとも
渡部 正和 さん（猪苗代中学校）

ほとんどの好きな風景、そこは、小さい頃から見てきた観音寺川の桜並木です。観音寺川の桜並木は、段々になっっている川の両岸に、約二百本の桜が並んでいる美しい場所です。

その桜の樹医をしていたのが、ほとんどの祖父です。祖父は、樹医として桜並木の桜を二十年間手入れし、毎

年美しい桜を咲かせてきました。これからも長く桜を咲かせたい、これが祖父の想いです。しかし、三年前に手のしびれなどがあり、祖父は引退しました。今は、祖父の後を受け継いだ方が、毎年桜の手入れをしてきています。そうして、変らない風景が、祖父の想いと共に受け継がれていくのだと感じています。

時代の流れで変わっていくものが多い中で、変らない風景が猪苗代町にはあります。その変わらない場所は、町の人がつむいで受け継がれてきた想いそのものなのです。観音寺川の桜並木を多くの人に知ってほしい。これからも変わらず受け継いでいきたい。それが、ほとんどの願いです。

議会報告会を開催します

日時 令和7年5月9日
午後6時～午後7時30分

場所 学びいな 研修室 ABC

内容 3月定例議会について
意見交換

※どなたでも参加できます
ぜひお越しください。

傍聴においで下さい

6月議会は
6月4日(水曜日)
開会予定です。

【一般質問予定日:10日(月)・11日(火)】

※質問者・質問内容については5月28日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

編集後記

いつまでも寒い日が続いていると感じているうちに、色とりどりの花が咲きそろそろ季節となり、いかがお過ごしでしょうか▼昨年12月から3月までの大雪による災害、ライフラインが途絶え、忘れられない大変な冬でした。日々、除雪作業が続く「うんざりだ」と言葉がでてしまうほど、大変な毎日ではなかったでしょうか▼待ちに待ったポカポカ陽気な春の季節が来ました。農家の人は、田んぼと畑の準備。そしてご家族の入学と新生活が始まった人も多いかと存じます。健康に留意してがんばりましょう▼今回から、広報担当が変わりました。これからもご愛読よろしくお願ひ致します。

山内 浩二

広報広聴常任委員会

(広報担当)

- 委員長 星野 あけみ
- 副委員長 五十嵐ミエ子
- 委員 山内 浩二
- 委員 大高 佐代美
- 委員 佐藤 英一郎
- 委員 渡辺 真一郎
- 委員 関沢 和人